LINEから処方箋送信

スマート×予薬

LINEのカンタンやり取りで、待たずにお薬をお受け取りいただけます。

01	02	03	04	05
LINEで 友だち登録	スマホのカメラで 処方箋を撮影	処方箋の画像を LINEで送信	お薬ができたら LINEで連絡	薬局でお薬の 受け取り



下記店舗インフォメーションより、
お近くの薬局のQRコードを読み取って“スマート×予薬”をご利用ください。

ご利用方法

処方箋を撮影 お客様
友達登録ができましたら、スマホのカメラで処方箋を撮影してください。

処方箋を送信 お客様
撮影した処方箋の画像を送信してください。

処方箋を確認 店舗
こちらで処方箋を確認しましたら、メッセージをお返しします。

完了のご連絡 店舗
お薬の準備ができましたら、完了のメッセージをお送りします。

お薬の受け取り お客様
完了のメッセージが届きましたら、ご来店いただき、お薬をお受取りください。

すみれ中央薬局 鎌倉店
鎌倉市笛田 2-1-40
TEL 0467-32-6080
FAX 0467-32-6082
在宅専門部門併設
訪問エリア
鎌倉市南部
藤沢市一部地域

すばる中央薬局湘南台店
藤沢市湘南台2-26-17
TEL 0466-44-8935
FAX 0466-47-6888
在宅専門部門併設
訪問エリア
藤沢市北部
泉区、戸塚区、綾瀬市、
海老名市の一部地域

ニコニコ薬局 茅ヶ崎本村店
茅ヶ崎市本村4-22-23
TEL 0467-39-5204
FAX 0467-39-5304

すばる中央薬局 大町店
鎌倉市大町4-3-22
TEL 0467-23-6100
FAX 0467-23-6101

すばる中央薬局 藤沢店
藤沢市宮前425-7
TEL 0466-52-0955
FAX 0466-52-0966
在宅専門部門併設
訪問エリア
藤沢市南部
北部一部地域
鎌倉一部地域

薬局大船
鎌倉市岡本2-6-35 1F
TEL 0467-47-1901
FAX 0467-47-1507

田中薬局桜新道店
藤沢市羽鳥5丁目5-10
TEL 0466-31-0771
FAX 0466-31-0772

すばる中央薬局 腰越店
鎌倉市腰越4-8-1
TEL 0467-38-1601
FAX 0467-38-1602

すばる中央薬局 戸塚店
横浜市戸塚区戸塚町565-16
TEL 045-869-5881
FAX 045-869-5883
在宅専門部門併設
訪問エリア
横浜市栄区
戸塚区
泉区一部地域

庄子薬局
横浜市南区弘明寺町270-9
TEL 045-731-5970
FAX 045-741-0760

すばる中央薬局 大船店
鎌倉市大船4-18-6-1A
TEL 0467-48-5855
FAX 0467-48-5836
在宅専門部門併設
訪問エリア
鎌倉市全域
藤沢市一部

すばる中央薬局 逗子店
逗子市久木1-3-21
TEL 046-874-5381
FAX 046-874-5382
在宅専門部門併設
訪問エリア
逗子市全域
葉山町、横須賀市、
横浜市金沢区一部地域

居宅介護支援事業所
すばるケアプランセンター
鎌倉市笛田2-1-40　2F
TEL 0467-40-5020　FAX 0467-40-5025

訪問看護事業所
すばる訪問看護リハビリステーション
藤沢市遠藤3607番地の10
グリーンプラザ03 A202
TEL 0466-90-5132　FAX 0466-90-5133

株式会社エルマノ
ホームページは
こちらから
ご覧ください。

SUBARU PRESS

すばる通信 15

発行日 2026年11月1日　発行元 すばる中央薬局大船店

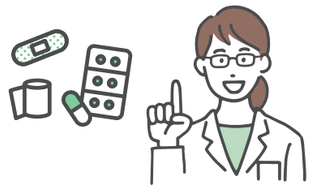


非常時の準備、万全ですか？



この夏は「今まで経験したことのない」という言葉を何度耳にしたことでしょう。
地震や豪雨などの災害がいつ起こってもおかしくない昨今、もしもの時のために非常用持ち出し袋を用意したり、備蓄用に食料や水を蓄えている方も多いのではないでしょうか。一度大きな災害が起こると、電力や道路などのライフラインの復旧に1週間程度かかるといわれています。それによって薬局を含め医療機関も一定期間機能しない可能性があります。お薬を服用して健康を維持している方にとって大切な薬が欲しいときに手に入らない状況を想定して、災害発生時に困らないように、薬の備えも大切です。

大切な備え



01 持病がある方は薬を最低でも7日分備蓄する

大きな災害が発生すると、診療再開までに時間がかかる可能性や調剤薬局に薬が届かない事態も考えられます。ライフラインの復旧を想定して、最低7～14日分の薬を備蓄しておくと良いでしょう。

- ☑ 血液をサラサラにする薬
- ☑ 血糖値を下げるインスリン製剤
- ☑ 血圧を下げる薬
- ☑ てんかんの薬

これらの薬は服用しないと特に体に悪影響が出てしまいます。災害備蓄用の薬として少し多めに処方してもらえるか、医師に相談してみてはいかがでしょう。いつも服用している薬を非常用持ち出し袋などに保管しておき、薬を新しくもらったら順繰りに服用していくと良いでしょう。

02 服用している薬の情報がわかる紙媒体を保管する



災害発生時は**停電の可能性があります。**最近はお薬手帳アプリを活用している方も多いですが、携帯電話の充電が切れると薬の情報を見られなくなってしまいます。アナログに戻ってしまいますが、紙のお薬手帳もしくは、薬の説明書（服薬情報）を保管しておくことをお勧めします。大規模災害の時には、かかりつけではない医療機関に受診する可能性があります。何の薬を服用しているかがわかるものがあれば、今までと同じ薬（もしくは類似薬）を処方してもらうことができます。

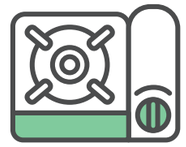
03 市販の解熱鎮痛剤や風邪薬を常備する



大規模災害の場合、**避難所に避難する可能性があります。**慣れない場所での生活で体に負担がかかり痛みが出たり、疲労がたまって風邪をひくかもしれません。気軽に薬が手に入らない状況になると想定されるので、手元に市販の常備薬（解熱鎮痛薬・総合感冒薬・胃腸薬など）があれば安心です。

薬以外にも備えておきたいもの

水（飲用・調理用）



飲料・調理用水として1日当たり1人約3リットル必要と言われています。3日分備蓄すると1人当たり2リットル入りペットボトルで5本分あると安心です。



調理できる器具

食品を備蓄していても調理できなければ困ってしまいますね。電気が使えないことを想定して、カセットコンロとガスボンベは必要です。水が十分に使えない状況が想定されます。食品ラップがあれば食器に巻いて使い、食べ終わったらラップを捨てれば洗い物が減らせます。

食品

長期保存可能な備蓄用の食品もありますが、別に購入して保管が必要ですし、期限が切れてしまうとフードロスにつながります。簡単に始められる備蓄、**ローリングストック**という方法をお勧めします。

ローリングストック
- ☑ 普段食べているものを少し多めに購入する
- ☑ いつもの食事で消費する
- ☑ 食べたら補充する

政府は最低3日分の食料を備蓄しておくことを推奨しています。

災害時に避難所で配布される食事はとてもありがたいものですが、持病を抱えている方にとっては塩分や糖分が過多になる可能性もあります。
また、食物アレルギーのある方も食べられないものがあるかもしれません。ローリングストックなら簡単に始められますし、災害時にもいつも食べているものを口にできる安心感もあります。ぜひ取り入れてみてくださいね。

